

防災行政無線戸別受信機

NRE-439



取扱説明書

本装置は良好に受信できるよう設置してあります。
この説明書をお読みのうえ正しくご使用ください。

本装置は防災無線を受信するための戸別受信機です。

JRC 日本無線株式会社

安全に使用いただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■上記表示の内容を、次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は禁止の行為であることを告げるものです。



このような絵表示は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

ご使用上の注意

■受信機について



分解禁止

分解や改造をしない

火災、感電、故障の原因となります。



水ぬれ禁止

ぬらさない

火災、感電、故障の原因となります。



禁止

**浴室や加湿器のそばなど、湿気の多い場所や塩水などの
かかるところ、ほこりの多いところで使用しない**

火災、感電、故障の原因となります。



禁止

歩行中に使用しない

ヘッドアンテナで誤って目を突いたりして失明などの事故の原因となります。



禁止

異物を機器内部に入れない

火災、感電、故障の原因となります。



禁止

不安定、衝撃、振動のある場所に置かない

けが、破損、故障の原因となります。



強制

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、火災や感電の原因となります。



電源プラグを
抜く

**煙が出ている、異常に熱い、変な臭いがするときは、電源
プラグを抜く** 火災、感電の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因となります。



禁止

雷のときは電源プラグ・コードにさわらない

雷によっては感電の原因となります。



禁止

電源コード、プラグが傷んだ場合は使用しない

火災、感電の原因となります。

警告



強制

電源プラグのほごりは定期的にとる

火災の原因となります。



禁止

配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用禁止 たこ足配線などで定格を越えると、発熱による火災の原因となります。



強制

電源を入れる前に音量を最小にする

耳を傷める原因となります。

注意



禁止

直射日光のあたる場所や、高温となる場所に置かない

変形、変色、故障の原因になります。



禁止

テレビ、ラジオ、パソコン等を近くに置かない

受信できなくなる場合があります。



強制

長期間使用しない時は、乾電池を抜く

液漏れ、故障の原因になります。

■乾電池について

注意



禁止

火の中に投げ入れない

火気に近づけないでください。液漏れ、発熱、破裂の原因となります。



禁止

＋、－端子をショートさせない

発熱、液漏れの原因になります。



分解禁止

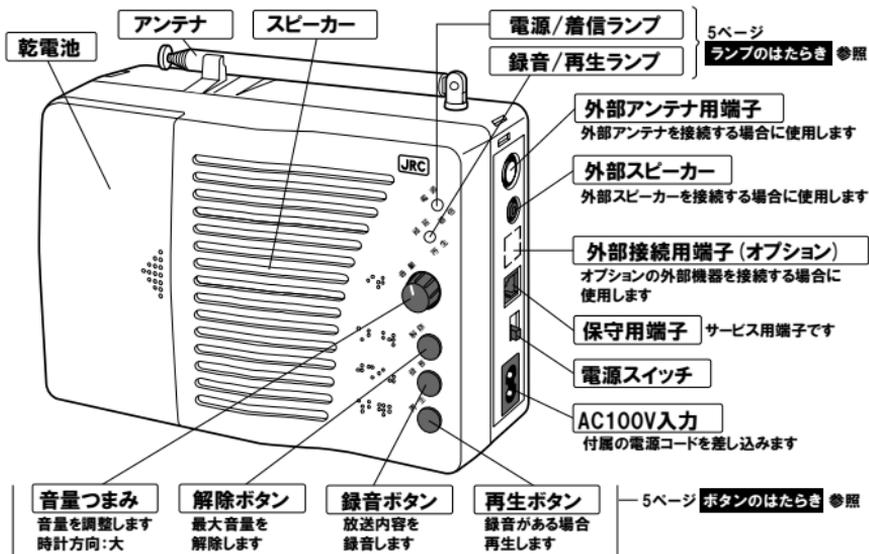
分解や改造をしない

けが、液漏れの原因になります。

装置の特徴

- 音量つまみにより音の大きさを調整することができます。
- 緊急通報時は、自動的に最大音量になります。解除ボタンを押すだけで、音量つまみの位置に応じた音量に戻ります。
- 通常はAC100Vで動作し、停電時は自動的に乾電池動作に切り替わります。
- 乾電池は、単1形、単2形、単3形がご使用になれます。(2本使用)
- 緊急通報および録音制御通報の受信時は、自動で通報内容を録音します。
- その他の通報受信時は録音ボタンを押すことにより、通報内容を録音することができます。
- 待ち受け時に録音ボタンを押すと留守録音設定になり、通常の通報も自動的に録音することができます。
- 待ち受け時に再生ボタンを押すと、録音されている内容を再生します。

各部の名称とはたらき



ランプのはたらき

ランプ	色	ランプ動作	状態
電源／着信 ランプ	緑	点灯	AC100V使用中
		点滅	乾電池使用中
	橙	点滅	通報受信中※1
	赤	点灯	故障
点滅		乾電池が消耗している、または、入っていない	
録音／再生 ランプ	緑	点灯	留守録音設定中※2
		点滅	再生中
	橙	点灯	再生されていない録音通報があります (留守録音設定なしの場合)
		点滅	起動中または録音消去中
	緑／橙	交互点灯	再生されていない録音通報があります (留守録音設定中の場合※3)

※1 データ受信の場合も橙点滅します。

※2 留守録音設定されていなくても、緊急通報など自動録音通報の受信中は緑点灯します。

※3 留守録音設定されていなくても、緊急通報など自動録音通報の受信中は緑／橙交互点灯します。

お願い

電源／着信ランプが赤点灯したときは、異常または故障です。(電源を入れたときを除く)
電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

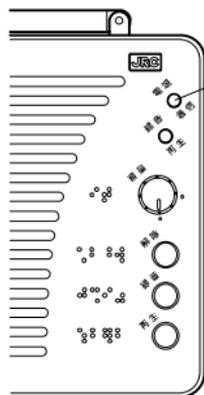
ボタンのはたらき

ボタン	操作	機能
解除ボタン	緊急通報中に押す	最大音量を通常の音量に戻します
	再生中に押す	再生を停止します
	留守録音設定中に押す	留守録音設定が解除されます
	解除ボタンを押しながら電源を入れる	録音されている通報音声を消去します
録音ボタン	待ち受け中に押す	留守録音設定されます
	通報受信中に押す	通報を録音します (手動録音)※1
再生ボタン	待ち受け中に押す	録音通報があれば、新しい内容から順次再生します
	再生中に押す	次の録音内容を再生します(再生スキップ)

※1 手動録音後は留守録音設定されます。

操作のしかた

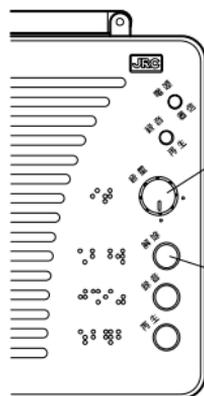
準備



電源／着信ランプが、緑点灯 (AC動作時)、または緑点滅(乾電池動作時)していることを確認してください。

- 電源スイッチは常に「入」にしておいてください。
- 電源コードは抜かないでください。乾電池の消耗を防ぎます。
- 乾電池は常に入れたまま使用してください。

音量調節



音量は通報受信時にお好みの大きさに合わせてください。

緊急通報受信は固定音量(最大音量)で受信されます。音量が大きすぎるときは、解除ボタンを押してください。通常の音量に戻ります。

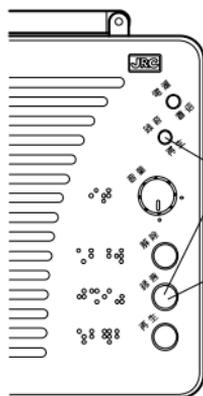
- 音量つまみを最小にしても音は聞こえます。

録音のしかた

録音は「自動録音」「手動録音」「留守録音」の3種類があります。

緊急通報など録音制御付き通報を受信した場合、自動録音されます。

留守録音設定すると、通常の通報を受信した場合も録音できます。(全ての音声通報を録音)



待ち受け中に録音ボタンを押すと、留守録音設定となり、通報を留守録音します。

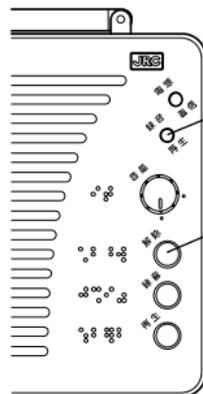
留守録音設定中は、録音／再生ランプが緑点灯します。

留守録音設定されていない場合でも、通報受信中に録音ボタンを押すと、手動録音となり、通報を録音します。

手動録音後は留守録音設定されます。

- 録音時間と録音件数は設置前に決定されています。
- 録音時間を超える通報の場合は、超えた分の音声は録音されません。
- 録音件数を超えると、最も古い録音内容から上書きされます。
- 電源が切れた場合でも、録音内容が保持されます。
- 録音開始した通報を、途中で録音中止にすることはできません。
- 留守録音設定を解除する場合は、解除ボタンを押してください。

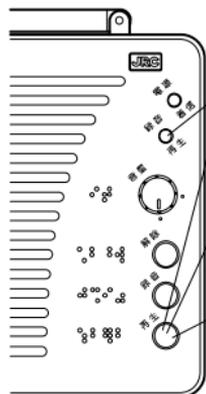
録音内容の消去のしかた



消去中は、録音／再生ランプが橙点滅します。点滅中は電源を切らないでください。

解除ボタンを押しながら電源を入れると、録音されている通報音声を全て消去します。

再生のしかた

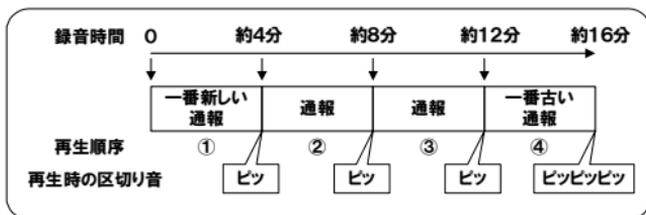


未再生の録音内容がある場合、録音／再生ランプが橙点灯(留守録音設定中は、緑／橙の交互点灯)しますので、再生ボタンを押して録音内容を再生します。

再生中に再生ボタンを押すと、次の内容にスキップします。

未再生の録音内容を全て再生した後、再度再生する場合は再生ボタンを押します。

- 1件再生する毎に、下記例のように区切り音が鳴ります。
(録音件数4件で、録音時間各4分の場合)

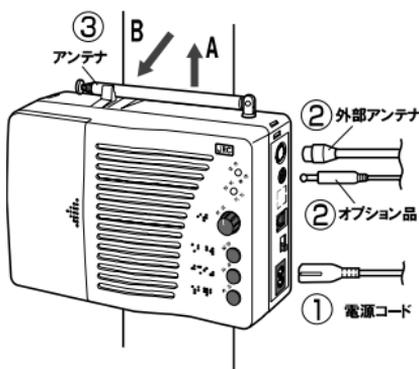


- 一番新しい通報から再生されます。

緊急時の持ち出しのしかた

① 電源コードを外す

- お知らせ音が鳴り、自動的に乾電池動作になります。
- 通報受信中に電源コードを外した場合、通報受信を優先するため、お知らせ音は通報終了後に鳴りません。
- 乾電池動作中は、電源／着信ランプが緑点滅します。赤点滅している場合は電池が消耗していますので、すぐに新しい電池と交換してください。



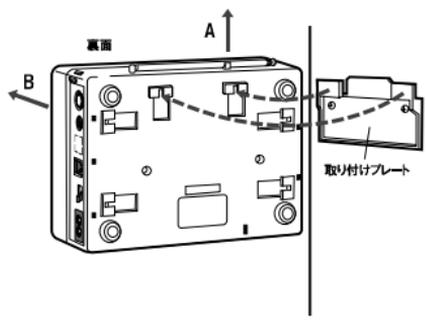
② 外部アンテナやオプション機器を外す

- 外部アンテナやオプションの外部機器を接続している場合は、それらを外します。

③ アンテナを縮めて本体を取り付けプレートから外す

A: 本体を上方へ引き上げる

B: 本体を手前へ引く



持ち出し後の操作注意

- 安定した、衝撃・振動のない場所に置いてください。
- 受信する時は必ずアンテナを伸ばしてください。電波の弱い場所では受信できない場合があります。
- 防水仕様ではありませんので、雨の日には濡らさないようにしてください。
- 未使用時は電源スイッチを「切」にしておくと乾電池の消耗を防ぎます。

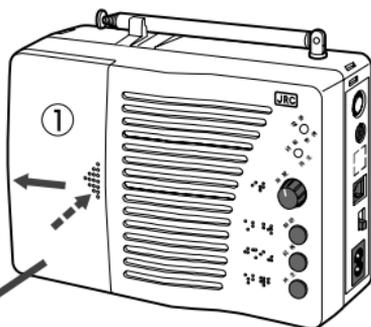
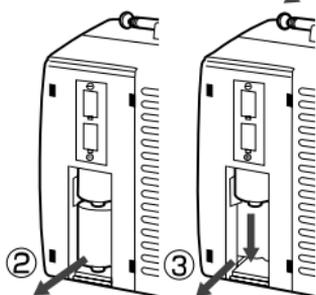
乾電池の交換のしかた

安全に交換していただくために

- 緊急時の持ち出しのしかたの要領で本体を取り付けプレートから外した後、安定した場所で行なってください。
- 電源スイッチを「切」にしてから行なってください。

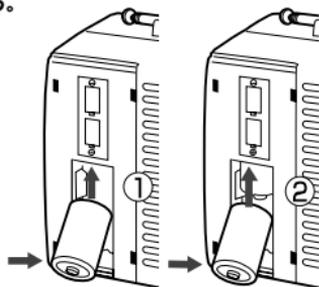
乾電池を取り出す

- ① 本体の電池ぶたを開く
の部分を押しながら左にスライドさせる。
- ② 1つ目の乾電池を指で引き上げながら取り出す。
- ③ 残った乾電池を指で押さえながら下へ引き出し、取り出す。



乾電池を入れる

- ① 乾電池の極性(+), (-)を確かめて、乾電池を押しながら奥へ滑らせ挿入する。
- ② 2つ目の乾電池で1つ目を押しながら挿入する。
(△注意)指を挟まないように注意してください。
- ③ 電池ぶたを閉める。
- ④ 取り外したコードを接続し、アンテナを元の方角に向け、電源スイッチを「入」にする。



乾電池の交換時期について

- 定期交換 1年に1回程度
- 電源/着信ランプが赤点滅した場合(一時的にお知らせ音が鳴ります)

乾電池の交換時のお願い

- 単1、単2、単3形アルカリ乾電池いずれかの同種類2本を同時に交換してください。
(マンガン乾電池でも動作しますが、動作時間が短くなります。)
- 使い切った乾電池はすぐに取り出してください。そのままにしておくと液漏れを起こし、故障の原因となります。
- 電池の+、-を確かめて入れてください。
- 数ヶ月に一度は電池の状態(サビ、液漏れ)を確認してください。

お手入れのしかた

安全のために

- 電源スイッチを切ってください。
- 電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの方法

- 乾いた布で拭いてください。
- ベンジン、シンナー、化学雑巾等は使用しないでください。

長時間使用しない時

- 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、乾電池を取り出してください。

故障とお考えになる前に

修理を依頼される前に、もう一度次のことを確認したのち、それでもなお異常がある場合には、販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをお確かめください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">● 電源スイッチが「入」になっていますか？● 電源プラグまたはAC入力プラグが外れていませんか？(AC動作時)● 新しい乾電池が入っていますか？(乾電池動作時)
放送が聞こえない	<ul style="list-style-type: none">● 外部アンテナ端子にアンテナコネクタが確実に接続されていますか？(外部アンテナ使用時)● 本機を移動していませんか？(電波が弱い場所に本機を置いていませんか？)● 電源は入っていますか？(電源／着信ランプが緑点灯または緑点滅していますか？)● 音量つまみを左に回しすぎていませんか？
音量つまみを左に回しきっても音が出る	<ul style="list-style-type: none">● 本機は誤って音量つまみを左に回しきっても通報を聞きのがさないように、微小音量が出ますので、異常ではありません。

定 格

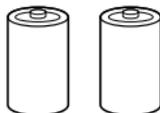
- 電 源 AC100V (50Hz/60Hz)
アルカリ乾電池 2本 (単1形または単2形または単3形)
- 消費電力 AC100V 約5W(定格出力時)、約2W(待ち受け時)
- 受信周波数 60MHz帯の内の1波
- 使用温度 0℃~+40℃
- スピーカー 最大出力500mW (AC100V入力時) インピーダンス 8Ω
- 寸 法 約220(幅)×150(高)×75(奥行)mm (突起物を除く)
- 質 量 約1kg (乾電池、電源コードを除く)

付属品

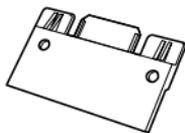
電源コード(1個)



単2アルカリ乾電池(2本)



取り付けプレート(1個)



木ネジ(2本)



取扱説明書(1冊)

